

あの事件から思う事

理事長・統括施設長 岡野光宏

神奈川県相模原市の知的障害者福祉施設で45人が死傷された痛ましい事件がおこりました。被害にあわれた方々やそのご家族の無念を思いご冥福をお祈りするとともに、障害児者福祉に携わる者として、皆様方に申し上げたいと思います。

なぜ、このような事件が起きたのか、犯人やその背景について報道が

されていますが、何より憤りを感じるのは、障害のある人の命や尊厳を否定していることです。このような考えは歴史的にもヒトラーやテロなどにも通じる危険な考えであります。経済の活性化は大事なことです。経済の活性化は大事なことですが、生きている人の犠牲の上に成り立つものではありません。資本の歪みがこの事件に反映しているのかもしれない。

障害児・者施設を利用されているご本人、ご家族にも憤りだけではなく不安を多くもつたのではないで

しょうか。施設で働いていた元職員
の犯行という点で、筑峯学園の危機管理や職員は大丈夫なのかといった考えも浮かんだことでしょう。私
たちも次々と伝えられるニュースに悲しみと憤りを感じつつ、決して
他人事とせず施設の内外に細かく
気を配る姿勢を強く感じており
ます。

先日、児童施設はキャンプ中に東京
デイズニールランドに行ってきた、
夜のパレードを見てから帰ってきた
ました。その前は学園でテント
を張り、昨年度購入した平沢作業所
でバーベキューを行い、夜は木を組
み立て（消防署にとどけて）キャン
プファイヤーを行なっていました。
職員一同、子供たちの喜ぶ顔がみた
い、協力して成長する子に育てたい
と力を合わせている職員の姿に理
事長・統括施設長として有難く思
います。障害者支援センター未来やグ

ループホームの職員も協力してく
れています。遅くまで働いている職
員を支えてくれる家族の協力もあ
つての事と職員のご家族にも感謝
しております。

仕事は楽しい事だけではなく、障
害を持つ方々の支援、援助には大変
なものがあります。言語によるコミ
ュニケーション能力の低さもあり
ますが、赤ちゃん、幼児の時は誰で
もそうであったではありませんか。
わかってあげたい、わかりたいとの
日々の働きで人は成長するのです。

自分の援助力の弱さを利用者が
悪いと転嫁してはなりません。障害
の有る無しで特別視されることな
くお互いに人格と個性を尊重でき
る社会を目指すとともに、社会福祉
法人筑峯学園は、職員が福祉に携わ
ろうとした温かい気持ちを継続で
きるように、利用者の方にも、働く
人にも、保護者の方にも、地域社会
にも胸をはって自信を持てる法人
になっていきたいと一層の努力を
する所存です。



定期的に行われている職員学習会

集団生活から学ぶ子供達

暑い日が続いております。皆様、お元気でお過ごしのことと思いません。

まだまだ、東北、九州と震災の爪痕は深く、復興が充分ではないとの事、この暑さは辛いだろうなどと案じております。それにしても最近の地震の多い事、備えや避難の仕方やら日々、全員ですぐ行動できるようにと訓練はいたしておりますが、まだまだ考えなくてはならない事や備えの必要性等を積み上げていかねばならない職員一致の課題として話し合っております。

児童施設は現在37名となり、8月中に2名の入所が決まっております。学童期の子供たちが多いので、土、日曜日以外は学卒者との作業や学習をしており、比較的静かな日々を送っておりますが夏休みのこの時期は子供たちのにぎやかさ、元気の良さに圧倒されています。私自身、

声の大きいのは声楽やこの子供達との生活の中できたえられたものですが、自然環境の中、子供達も家庭に居た時より皆、声のボリュームが上がっているようです。これも一つに育ちあいですね。一人でいるときよりお友達がいって、伝え、遊びを通して自己主張をし、けんかもあり、仲良く協同したお手伝いや遊びもあの中ら、自分の個から他者への視点を持つ。折り合いをつけて一緒に生活をしていく。この子供達ってすばらしいな。児童施設は今の日本では数少ない集団の中で成長を遂げることの出来る場であると思います。

大人の私たちより、気付き、気遣い等ができる場所もあります。本当にたいしたものです。大人の物差しだけで見るのではなく、子供の心情を理解し、発達を保障する援助、教育を児童期にしっかり関わっていきたいと思います。

百聞は一見に如かずと言う諺があります。なにより経験が大事です。この夏は、キャンプをします。学園を拠点として障害者支援セン

ター未来の利用者さん達が作業している畑(数か所)等を訪問するウォークラリー、バーベキューやカレーづくり、キャンプファイヤーを行う1日目、2日目は東京デイズニールンドへ行き、夜のパレードまで見ている計画です。3日目は障害者支援センター未来のお兄さんたちとソフトボールの試合をする予定です。素敵な思い出がたくさん残る事でしょう。

話は変わりますが、夏休みに入つてすぐ、20年余散髪のボランテイアをしてくださっている都築さんが散髪に来てくださいました。お出かけもあるからとのお気遣い、大変ありがとうございました。喜んで散髪してもらおう子供たちの中に、髪型の無理な注文をする子もいます。格好をつけたい年頃なのかわかりますが、アイドルや俳優のしている髪型にあこがれ、自分もしたいとの訴えです。毛質や、似合わない、こうしたらのアドバイスに耳を貸さない態度がみられます。良く存じ上げている都築さんですが、申し訳ないやら、自分たちの指導不足な

のかと青年期の援助の難しさを感じます。青年期のパワーを理解しつつ、一人一人の人格も豊かに人に感謝できる自己主張はしても素直な思いやりのある人へと成長できるように私達職員も育ちあう一人一人として成長していかなくては思っております。

夏の後には、運動会、収穫祭等々皆様方のご協力が欠かせない行事が予定されております。ぜひ、社会福祉法人筑峯学園にいらして下さい。お待ちしております。

まだまだ暑い日が続きます。皆様におかれましては十分に健康に留意されこの夏を乗り切ってください。

障害者支援センター未来

センター長 松島寿樹

新たな取り組み 施設外作業

関東地方の平年の梅雨明けは7月21日だそうですが、今年は平年より梅雨明けが遅れましたね。昨年の梅雨明けは7月10日と早く、猛暑が続いたことを思い出すと、今年は少し過ごしやすいい夏が来るのか？と期待せずにはいられません・・・。

平成28年度がスタートして4ヶ月がたちました。今年度は新たに4名の利用者さんを迎え、総勢68名の事業所になりました。みなさん特別支援学校を卒業して新たに社会人生活をスタートしました。大きく日中の環境が変わり、大変な思いもあるかもしれませんが、少しずつ日々の生活に慣れて活動しています。

障害者支援センター未来の主な日中活動は、今年度も「つくほう米」の生産とともに、「つくほうの森」

の環境整備を中心に行う班、園内の畑班、地域の畑班、上沢作業所班と主に4つの班に分かれて活動しています。地域の田んぼの耕作面積は7・5ha、畑は50aほどになってきました。広範囲の耕作になると農業機械の力を借りずに行うことは難しいですが、様々な作物を栽培することで利用者さん達が多様な仕事に取り組むことができるように努めています。そして、今年度より新たに㈱みらいファームでのサツマイモ生産作業や筑波大学のセキショウフィールドの清掃維持管理作業など、施設外での作業の機会を設け、より就労に近い環境での活動を増やしています。

㈱みらいファームは若手農家や実業家で今年度立ち上げた農業ベンチャー企業で、つくばみらい市の9ヘクタールの圃場で「紅はるか」を中心としたサツマイモを生産しています。障害者支援センター未来の利用者さんは5月～6月にかけて職員と6人のチームを作り、週2～3回苗植え作業に携わりました。他の事業所（つくばライフサポート

センターみどりの、ごきげんファーム等）と共に作業に携わる機会もあり、貴重な経験を積んでいます。そして秋には収穫作業に携わる予定です。

筑波大学セキショウフィールドは、筑波大学第2サッカー場の改修工事が行われ、最先端の全面人工芝マルチフィールドに生まれ変わった場所です。今回、筑波大学からの作業委託を請け、障害者支援センター未来で1～2週間に一度、清掃維持管理作業を行います。自然豊かな筑波大学のキャンパス内にあるセキショウフィールドは、周囲に草が生えたり、ピッチ内に落ち葉が落ちたりするので、その環境整備が主な作業となっています。

一方、特別活動として2泊3日の夏季旅行や冬季スキー旅行など今年度も行います。このような日々の活動に参加することで様々な経験をすること、個々人の人間としての成長・発達に繋がって行けばと考えています。楽しみながら前向きに参加できるように職員も日々試行錯誤しながら、今後も様々なことに

チャレンジしていきたいと思えます。

7月13日(水)～15日(金)には夏季旅行第1班として群馬県みなかみ町に2泊3日で行ってまいりました。今年もラフティングや谷川岳登山に陶芸体験など盛りだくさんの旅行となりました。第2班は8月31日(水)～9月2日(金)に栃木県奥日光方面に行き中禅寺湖クルーズや戦場ヶ原ハイキング、日光江戸村などを楽しんでくる予定です。普段生活している家庭やグループホームを離れてキャンプ場で寝食を共にし、わくわくドキドキしながらの3日間となるはずですが、今年もボランティアで参加していただいている方をはじめ、様々な方にご協力をいただいております。誠にありがとうございます。

最後に10月8日(土)～9日(日)につくば国際会議場でソーシヤルファームジャパンサミット in つくばが開催されます。ソーシヤルファームジャパンサミットとは就労困難者の仕事づくりを経済の視点から考える大会です。フラ

つくほうだより

ンスより社会復帰が困難な人たち（長期失業者、ホームレス、DV被害者、刑余者…）が農作業を通じて社会生活に順応し、やがて社会復帰、自立の支援を行っているNPO法人ジャルダン・ド・ユカーニュ創設者のジャン・ギイ・ヘンケル氏も来日されシンポジウムが行われます。障害者支援センター未来も大会に携わらせていただき、懇親会のデイナーでは「つくほう米」のリゾットもメニューに加わる予定です。詳細が発表できる段階になりましたら法人ホームページ等にも載せさせていただきます。



グループホーム・ほっとハウス 施設長 松山金寿 安心して楽しく 生活できるように

暑中お見舞い申し上げます。暑くなったり、寒くなったりと、はつきりしない天気が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ほっとハウス平沢近くの山々からは、鳥の声に混じって、蝉の声もちらほらと聞こえ始め、季節の移り変わりを感ずる事が出来ます。皆様も、こちらにお越しの際には、付近を散策しながら、季節を感じて頂ければと思います。

ほっとハウスでは、衣替え、消防署の指導による総合訓練、棟内外の環境整備を行っております。また、汗をかく事が多くなるので、皮膚病の予防や食中毒、熱中症にも留意して、生活支援を行っております。利用者様の様子ですが、作谷、平沢共に、暑さに負けず元気に過ごしております。5月には、ほっとハウス作谷にて、作谷、平沢合同でバー

ベキューとレクリエーションを行いました。利用者様もバーベキュー準備の手伝いをしたり、DVD鑑賞を楽しんだり、また、午後には職員手作りのポーリング大会で盛り上がりました。ご馳走を食べ、レクで一喜一憂しながらも大いに楽しみ、利用者様それぞれが満足した様子でした。また、ゆうあいピックにも参加して来ました。レクリエーション競技に参加した利用者様は、それぞれがレク競技を楽しみ、代表選手として陸上競技に参加した利用者様は、記録を目指して一生懸命頑張った様子でした。

6月には、買い物外出で、つくば市内の各種専門店に出かけ、利用者様それぞれが、CDや本等の趣味嗜好に合ったものや、生活用品、作業用品を購入して来ました。また、全員参加では無かったのですが、霞ヶ浦に川エビ捕り、釣りにも出かけてきました。エビを網で捕まえたり、ナマズを釣り上げ大喜びしたり、1匹も釣れずに悔しがり、リベンジを誓ったりと、一日楽しんで来た様子です。また行きたいとの声も多くあ

り、今後も充実した生活が送れる様に機会を設け、余暇活動の計画を継続していきたいと思っております。



障害者相談支援事業所

事業所長 武田真浩

サポートブックのご案内

相談支援事業所より、今回は『サポートブック』について紹介させていただきます。

サポートブックとは、お子さん（利用者さん）に関わる人たちに、お子さん（利用者さん）の特性を知ってもらい、適切な対応や支援をお願いするためのガイドブックのようなものです。言い換えれば、家族以外の人に関わってもらう時にお子さん（利用者さん）に関する様々な情報を知ってもらうためのツールです。お子さん（利用者さん）と支援者をつなぐ、就学前〜学齢期〜青年期といったライフステージをつなぐ、理解者や支援者を増やしていく上でも活用できるものです。

例えば、これから幼稚園や保育園に就園されるお子さん、小学校に入学されるお子さんはもちろん、進級で担任の先生が変わる場合は今までの情報がどれくらい引き継ぎを

されているのかわからないところがあるかと思っています。そのような時にその都度お子さん（利用者さん）のことを伝え続けていくことにご苦労された方もいらっしゃるかと思います。

サポートブックを作成するのは主に保護者の方となります。作成する手間を考えると…と気が引けてしまうところもあるかと思いますが、就学や進級をする度に、福祉サービス等を利用する度に同じような内容を伝え続けていくことの手間や作成しておくことでのメリットを考えると、作成する手間もそれほど負担にならないのではと感じます。作成にあたっては保護者の方のみではなく、関係機関の方と一緒に考え、相談しながら作成してもよいかと思います。

お子さん（利用者さん）が安全で楽しく健やかに生活していくことを助けるために、特性や必要な情報をまとめ、本人を中心にご家族や支援する機関及び人々それぞれが情報の共有が図れるようにサポートブックを作成してみたいかがで

しょうか？

興味や関心を持たれた方、もっと詳しく知りたいと思った方等、質問等がございましたら、お気軽に「相談支援事業所 筑峯学園」までお問い合わせ下さい。すでに作成して活用されている方もお持ちですし、作成するにあたっての雛形等の情報もございますので、ご連絡いただければと思います。よろしく願います。